

東濃西部

「人・もの・情報」が行き交う魅力あふれる産業文化創造圏

広域だより

VOL. 34

平成25年3月

あなたも将来、医師として 東濃で活躍してみませんか？

東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業奨学生を募集します！

『医師になりたい！でも思ったより学費がかかる…。』

『医師になったら、東濃で勤務したい！』

『東濃で充実した医療が受けたい！』

そんな声から生まれたのが

『東濃地域医師確保奨学資金等貸付制度』です！



広域組合では、深刻な医師不足を解消するために、将来、東濃地域の指定医療機関において、医師として地域医療に従事する意志がある方に対して、修学上必要な資金を貸し付ける『東濃地域医師確保奨学資金等貸付制度』を実施し、これまでに33人の奨学生に奨学資金等の貸付を行っています。

平成25年度奨学生の募集概要

応募資格	平成25年4月1日の時点で医学部学生、医学部大学院生及び医師で臨床研修、専門研修を受けている者又は受けようとする者
貸付金額	(1) 修学又は研修期間中：月額20万円（年額240万円） (2) 大学入学時：60万円（1回限り）
貸付人数	5名程度
貸付期間	(1) 大学生奨学資金：正規の修業期間（6年間を限度） (2) 大学院生奨学資金：正規の修業期間（4年間を限度） (3) 研修資金：5年間を限度
指定医療機関	東濃厚生病院、土岐市立総合病院、中津川市民病院、国民健康保険坂下病院、市立恵那病院、国民健康保険上矢作病院
応募受付期間	平成25年4月1日(月)～5月20日(月)

詳しくは、当組合ホームページをご覧ください。

構成市の状況

H25.1.1 現在

	多治見市	瑞浪市	土岐市	合計
人口(人)	115,365	39,974	61,383	216,722
世帯数(戸)	44,329	14,818	23,481	82,628
面積(km ²)	91.24	175.00	116.16	382.40

岐
阜
県
多治見市
瑞浪市
土岐市

『東濃西部広域だより』とは、東濃西部の三市（多治見市、瑞浪市、土岐市）の共同事務処理を行う広域行政機構「東濃西部広域行政事務組合」が、その事業内容を圏域の皆さんに知っていただくために発行している広報紙です。年に2回（10月と3月）発行しています。

『東濃西部広域行政事務組合』は、医師確保奨学資金等の貸付、看護専門学校の管理運営、青少年の健全育成及び非行防止、広域にわたる職員研修、広域産業観光の振興、犬の登録及び狂犬病予防、巡回型の消費生活相談、ふるさと市町村圏基金の設置及び管理運営に関する事務などを行っています。



社会に貢献できる人材を
育成しています

東濃看護専門学校

「人間愛と創造」を理念に

本校は、地域の看護師不足緩和と質の高い看護師の育成を目的に准看護師が働きながら学べる看護師養成所として設立されました。平成25年で設立20年となり、現在までに554名が卒業、国家試験合格者は546名となりました。卒業生のうち、325名が圏域内（多治見市・瑞浪市・土岐市）の一般病院・精神科病院・老人保健施設などで活躍しています。

本校の学生は、愛知県、福井県などからも応募者があり、在学中は准看護師資格を生かし圏域内の医療機関等に就業しながら、看護専門職としての向上心を持って学んでいます。本校の理念に基づき、人間に対する深い愛情と探究心を養う事を教育方針とし、経験豊かな教員は学習者の個性を尊重しながら経験と知識を関連できるような授業に心掛けています。また、働きながら学ぶ学生の心身の健康にも心を配り目標達成の支援をしています。

国家試験合格率...**94%**

●平成24年3月卒業生就職先
(圏域内)

社会医療法人厚生会 多治見市民病院
田ノ井外科産婦人科医院
JA 岐阜厚生連 東濃厚生病院
土岐市立総合病院
特定医療法人社団聖泉会 聖十字病院
高井病院

学生の声



小さい頃からの 「看護師になりたい」という夢

ごとうさやか
後藤沙也佳さん 2年生

小さい頃からの夢だった看護師を目指し、午前は病院で働き、午後は学校で看護学を学ぶという日々を過ごしています。

高校で福祉について学んだ私は、恩師の勧めで土岐准看護学校へ、その後、東濃看護専門学校を卒業した先輩からの勧めもあり、この学校に進学しました。正直、勉強は不得意なので不安もありますが、聞けば必ず返してくれる熱心な先生たちの指導の下、看護師国家試験に向け、充実した学校生活を送っています。

看護学の授業では、「アセスメント」を学びます。患者さんの検査データや状態を分析することで、病態を理解し、看護を考えることができます。看護を学ぶことは楽しいです。3年間休まず、頑張ろうと思っています。

将来は、患者さんの気持ちが分かる看護師になりたいです。

【メッセージ】 魅力的な奨学金制度もあるので、安心して学校生活も送れますよ。ぜひ、この学校で看護師を目指してみてもいいです。



患者さんの笑顔が見たくて

よしむらゆま
吉村祐馬さん 2年生

中学生の時は、お年寄りのお世話がしたいと介護福祉士を目指していたのですが、従兄が病に倒れる姿を見て、看護師になりたいと決意しました。

現在は、多治見市内の病院で准看護師として勤務しながら、学年トップらに入れるよう、一生懸命勉強しています。

仕事をしながら、勉強することは大変だけど、自分のスキルの向上が手に取るように分かり、とてもやりがいを感じています。

将来、看護師となって、患者さんが病気と向き合える環境作りや、患者さんが本来の笑顔を取り戻すことができる手助けをしたいと思っています。

少しでも地域医療に貢献できる看護師になりたい。

【メッセージ】 先生方の面倒見もよく、とても親切に指導してもらっているので、しっかりと学ぶことができます。この学校で勉強してみませんか。



お知らせ

准看護師の方で受験を考えている方、
臨床から離れて不安を感じている看護師の方へ

東濃看護専門学校では、平成25年度より、授業体験を実施します。
ご希望の方、詳細をお知りになりたい方は、3月21日以降に本校へお問い合わせください。

Eメール： tono-n.c@basil.ocn.ne.jp
TEL：0572-55-8181
FAX：0572-55-8182

君の少しの優しさで 「ありがとう」が あふれ出す



東濃西部少年センターからのお知らせ

指導員による声かけ活動

少年センターでは、青少年育成国民運動の理念に基づき、子どもや若者の健全な育成のために彼らとの信頼関係を築く「声かけ（指導）活動」に取り組んできました。

今回は、200人の指導員が年間を通して組織的・継続的に取り組んできた活動の状況を紹介します。

かつての不良行為や非行の防止を主とした補導から、すべての子どもや若者の健全な育成を第一とする指導に軸足をおき、近所のおじさん・おばさん感覚での、あいさつ・はげまし・ねぎらいなどの「声かけ」に力を注ぎました。その結果、各地区からは、23年度にも増して、子どもや若者と明るく気持ちのよいあいさつができるようになったとの報告が目立っています。これは、声かけ活動への見直しや工夫が、確実に進んできた結果であると言えます。

こうした活動の積み上げが、彼らとの信頼関係を深めることにつながり、困った場面に直面しても、対処できる力になるのだと信じています。

さて、この声かけ活動は、平成24年5月から12月までの8カ月間で、指導員が34の班に分かれ、延べ296回実施しました。その結果、当たり前の声かけだけでは済まない、注意（指導）にまで踏み込んだ事例は、下表の通り、喫煙・危険な遊び・自転車に関する事などで、総件数は年々減少しています。

また、花火大会や夏まつりが集中した7・8月の期間は、午後9時から午後10時30分までの時間帯に、イベント会場や駅周辺で夜間の特別街頭指導を実施しました。この間各地区では、一部の若者による、たむろや喧騒などの迷惑行為も見られましたが、関係機関や各種団体の積極的な取り組みもあって、大過なく過ごす事ができました。



JR多治見駅南北連絡線(自由通路)での啓発活動

●行為別の指導状況

(単位：人)

男女別	年度別	喫煙	危険な遊び(※1)	その他	迷惑行為(※3)		合計
					自転車関連(※2)		
男子	23年度	42	0	61	36	25	103
	24年5～12月	10	14	45	22	23	69
女子	23年度	19	0	31	4	27	50
	24年5～12月	7	7	14	3	11	28

※1 道路上でのサッカー・ドッジボール・スケボー等の遊び、公園・河川敷等での危険な花火等

※2 二人乗り、並進、無灯火、高校生の携帯電話片手走行、小学生のヘルメット無し、危険走行等

※3 駅前・駅売店・駅トイレ・コンビニ等にて、たむろ・居座り・飲食・化粧等する迷惑行為

平成24年度補正予算、 25年度予算が可決

平成25年第1回広域組合議会を開催



平成24年度補正予算内容

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	4,033万2千円	△147万7千円	3,885万5千円
東濃看護専門学校事業特別会計	1億3,432万7千円	△607万7千円	1億2,825万円
東濃西部少年センター事業特別会計	1,378万2千円	0円 (※)	1,378万2千円
東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計	1億4,320万4千円	0円 (※)	1億4,320万4千円
合計	3億3,164万5千円	△755万4千円	3億2,409万1千円

※財源の内訳を変更しました。

1月31日(木)に平成25年第1回広域組合議会定例会が開催され、平成24年度補正予算4件、平成25年度当初予算6件を原案通り可決し、同日閉会しました。

平成25年度当初予算内容

会計名	25年度当初予算額	24年度当初予算額	比較	前年比
一般会計	4,083万2千円	4,033万2千円	50万円	1.2%
東濃西部ふるさと活性化基金特別会計	2,155万5千円	2,289万4千円	△133万9千円	△5.8%
東濃看護専門学校事業特別会計	1億3,641万2千円	1億3,432万7千円	208万5千円	1.6%
東濃西部少年センター事業特別会計	1,545万2千円	1,378万2千円	167万円	12.1%
東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計	1億5,170万4千円	1億1,260万4千円	3,910万円	34.7%
東濃西部看護師修学資金貸付事業特別会計	1,176万円	-	1,176万円	-%
総額	3億7,771万5千円	3億2,393万9千円	5,377万6千円	16.6%

予算の概要

平成25年度の予算総額は3億7,771万5千円、前年度比16.6%の増額となりました。

このうち、一般会計では4,083万2千円で、平成5年式の公用車の更新を行うなど、前年度と比較して50万円の増額となりました。

特別会計のうち、東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計では、新年度も引き続き奨学資金等の貸付や奨学生の新規募集を行います。これまでに決定した奨学生にかかる各市からの負担金が増えるため、前年度と比較して34.7%の増額となりました。また、新たに東濃看護専門学校の学生を対象とした修学資金貸付制度を実施するため、東濃西部看護師修学資金貸付事業特別会計を新設し、1,176万円を計上しました。

広域組合の事業は、構成市（多治見市・瑞浪市・土岐市）からの負担金で、経費の大部分を賄っていることから、今後もより一層の合理化と経費の削減に取り組んでまいります。

大切なあなたのパートナーに!!

狂犬病予防注射

平成25年度の狂犬病予防注射の集合注射を下記の日程で実施します。集合注射の開催場所及び時間は、各市広報紙または広域組合ホームページでお知らせしますのでご覧ください。

この集合注射の期日に接種できない方は、動物病院で接種してください。

	期 日	広報掲載
瑞 浪 市	4月8日～4月12日	3/15号
土 岐 市	4月15日～4月19日	3/15号
多治見市	5月8日～5月20日	4/1号



登録はお済みですか？

生後91日以上未登録犬を取得した場合は、登録（生涯1回）をしなければならないと狂犬病予防法で定められています。犬を新たに飼い始めた時は、下記の窓口で登録申請をしてください。

また、犬の所在地や所有者が変わったなど、登録内容に変更が生じた場合には届け出が必要です。

○…手続き可能

届け出の内容	窓 口					手続きに必要なもの
	広域組合	多治見市 環境課	瑞浪市 環境課	土岐市 環境課	支所	
犬の登録	○	○	○	○	○	登録料 3,000円(1頭につき)
注射済票の交付	○	○	○	○	○	注射済票交付手数料 550円(1頭につき) お知らせハガキ、狂犬病予防注射済証
住所変更	圏域内(多治見市・瑞浪市・土岐市)での住所変更	○	○	○	○	愛犬登録証
	圏域外からの転入	○	○	○	○	旧所在地で発行された鑑札
	圏域外への転出	転出先の市区町村役場などで手続きをしてください				旧所在地で発行された鑑札
飼い主の変更	○	○	○	○	○	愛犬登録証
愛犬の死亡	○	○	○	○	○	鑑札・注射済票

注) 多治見市地区事務所と瑞浪市コミュニティセンターは死亡届のみ受け付けます。
鑑札・注射済票を紛失した方は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

※広域組合…東濃西部広域行政事務組合

お 願 い

3月下旬から4月上旬にかけて、犬の登録をされている飼い主の方には狂犬病予防注射のお知らせハガキを郵送します。

狂犬病予防注射を集合注射や動物病院で接種する際、または各市役所で注射済票の交付申請をする際は、必ずお知らせハガキをお持ちください。

問い合わせ先

- 東濃西部広域行政事務組合
☎23-1111 (内線491)
- 多治見市役所 環境課
☎22-1111 (内線1334)
- 瑞浪市役所 環境課
☎68-2111 (内線491)
- 土岐市役所 環境課
☎54-1111 (内線252)